

すみゆめプロジェクト企画も、11月5日に参加！

uni「すみだ川ラジオ倶楽部」プレイベント『青空公開収録DAY』

📍 一日限りのミニラジオブースを設けて公開収録（13:00～16:00、ミズマチW04・W05間の通路）。

- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用とこまめな手指消毒にご協力ください。
- * 踊りや観覧の際には、他の方との十分な間隔をあけてくださいますようお願いいたします。
- * 出演者や踊り手へのお声がけは控えていただき、拍手で気持ちをお伝えください。
- * 会場内での飲酒及び食事はご遠慮ください。喫煙は公園内の喫煙所をご利用ください。
- * ゴミはお持ち帰りいただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- * 近隣にお住まいの方にご配慮いただき、お帰りの際はお静かに願います。

すみゆめ踊月夜

日程：2022年11月5日（土）・6日（日）

会場：隅田公園（そよ風ひろば～牛嶋神社周辺）

「すみゆめ踊行列」プロデュース：岸野雄一
「うらないうら道」企画・構成：居間 theater

踊り指導：墨田区民踊連盟 高橋志津子、よへほ節 中村静枝

舞台監督：宋基文

音響：丸山渚

会場演出・照明：株式会社TASKO

協力：株式会社アイジャスト、すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会、墨の市事務局、日本大学佐藤慎也研究室、
株式会社HAGISTUDIO、PARADISE AIR

出店：本所吾妻橋商店会、Bar Ambience

当日運営：細田侑、林光太郎、紅谷憲信、浅野やすたか、西山亮（盤平連）、笠原龍史、照田晃司、中山貴史、陸（Blue）、そばじま、
レコードコンビニ、山口香苗、MOKOLYM、カジワラリョウコ、徳江蔵、大津亮一、高橋薫、Chin、山口大輔、プリンス王子、
佐野ロック、けろ山、ゆみこ、Newguinea、多賀健太郎、岸野理恵、戸田昌征、DJ伝内、関龍太郎、小塚類子、宇宙軒明星、
eciov_nimereht、Dj The Tofu、塩田将也、新村浩望、山本博士、加藤史晏、河野杏南、山下紗輝衣、山中基暉

宣伝美術：内田圭（デザイン）、萩原慶（イラストレーション）

広報：合同会社渚と 森隆一郎、富山紗瑛

撮影：金子愛帆、須藤崇規、富田了平、西村明也、古澤惇、宮田真理子

制作：清宮陵一、小松崎由実、田草川紘一、平賀貴翔、岡本かなは
事務局：公益財団法人墨田区文化振興財団

主催：「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区

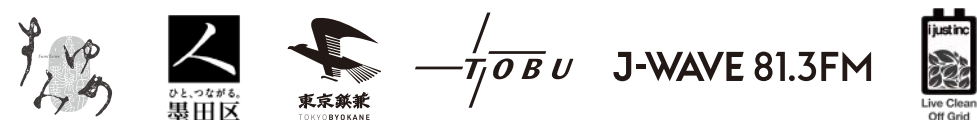
協賛：株式会社東京紙兼、東武鉄道株式会社

メディア・パートナー：J-WAVE 81.3FM

Organized by: Sumi-Yume Executive Committee, Sumida City

Supported by: TOKYO BYOKANE CO., LTD., TOBU RAILWAY CO., LTD.

Media Partner: J-WAVE 81.3 FM



集い 巡り 語らう 踊りとうらないの夕べ

An Evening of Gathering, Strolling,
Conversation, Dance—and Fortune-telling

Sumi-Yume Moonlight Dance Night

隅田川 森羅万象 墨に夢

<https://sumiyume.jp>

✉ sumiyume@sumida-bunka.jp

📘 facebook.com/sumiyume.sumida

🐦 @SumiYume_art

アンケートにご協力ください。



🌀 すみゆめ踊行列 Sumi-Yume Dance Parade

多彩な歌い手や演奏家を迎え、耳馴染みある音頭からオリジナル楽曲の数々を生演奏。ま〜るく輪になって踊ったり、懐かしの曲に地元のお祭りを想ったり、鎮魂の舞を静かに見つめたり、心のままにお楽しみください。

11月5日（土）	14:00～	スターティングアップ：踊り始め …… ジンタラムータ*1 with 小林太郎
	14:30～	ボリビアの死者追悼の踊り …………… 日本ラテンアメリカ友好協会
	15:00～	メキシコの死者追悼の踊り …………… 日本ラテンアメリカ友好協会、稲見里恵
	15:30～	本所魁太鼓（本所一丁目町会）
	16:00～	お囃子・一睦囃子、獅子舞・寿獅子（小梅一丁目町会）
	16:30～	生演奏盆踊り*2…ジンタラムータ with 小林太郎、中西レモン、柳家小春、山田参助、Likkle Mai
	17:20～	メガヒット盆踊り
	17:45～	生演奏盆踊り …… ジンタラムータ with 小林太郎、中西レモン、山田参助、Likkle Mai
	19:00～	民謡クルセイダーズ
	20:00	終演

11月6日（日）	14:00～	寺島茄子之介音頭、佐左エ門音頭〜すみだよいとこ編〜 …… パピボンズ
	14:30～	河内音頭 …………… 炎上寺ルイコ、南牧夫
	15:15～	生演奏盆踊り …… ジンタラムータ with 久下恵生、中西レモン、柳家小春、山田参助、Likkle Mai
	16:20～	江州音頭 …………… モノガタリ宇宙の会＋Donuts Disco Deluxe＋にゃんどこ
	17:10～	生演奏盆踊り …… ジンタラムータ with 久下恵生、中西レモン、山田参助、Likkle Mai
	18:10～	熊本よへほ節（中村静枝先生のご指導による）
	18:30～	木遣り 纏振り … 江戸消防記念会 第六区六番組
	18:45	終演

*1 ジンタラムータ：こぐれみわどう、大熊ワタル、服部夏樹、木村仁哉、イトケン、サルディ佐藤比奈子、小山理恵（11/5）、関島種彦（11/6）
*2 生演奏盆踊り：炭坑節、八木節、東京音頭、相馬盆歌、北海盆唄、ドンパン節、オバQ音頭、生きなっせ（作詞作曲：柳原陽一郎、振付：にゃんどこ）

🌀 うらないうら道 Fortune-tellers’ Lane

夕闇迫る頃には、公園のあちらこちらに、独自のうらないを供するアーティストたちが現れます。うらないを通じ共に遊ぶ時間の中に過去・現在・未来の自分を映し、明日の振る舞いを決める手掛かりが見出せるかも――。

11月5日（土） 16:00～20:00 ／ 11月6日（日） 15:00～19:00

◎企画詳細は案内所にて。「うらないうら道」に導く入口ですので、まずはお立ち寄りください。

《参加アーティスト》

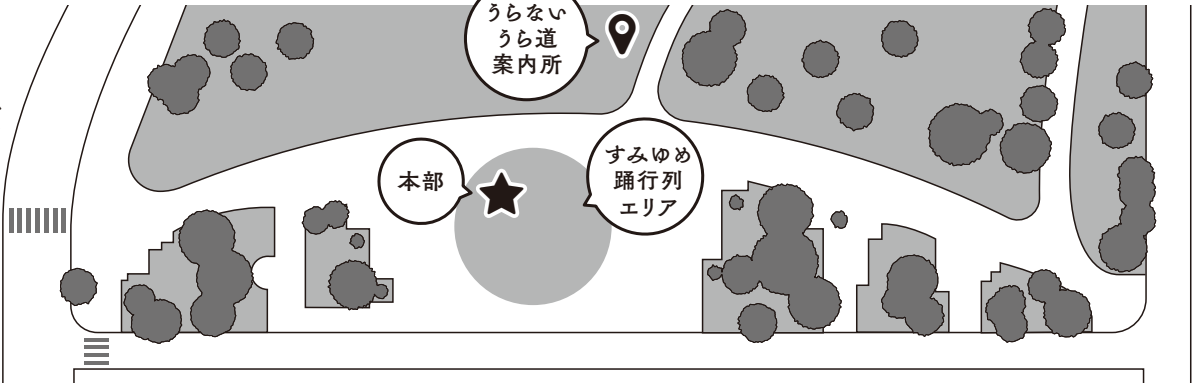
居間 theater＋荒木知佳 ／ 今和泉隆行|地理人 ／ 遠藤麻衣 ／ しば田ゆき ／ たくみちゃん ／ 福田毅

《出演》

橋本和加子／pinpin co（11/5）

会場マップ

隅田公園
そよ風ひろば



すみゆめ踊行列 出演

ジンタラムータ / Jinta-la-Mvta

圧倒的な祝祭性・実験性など唯一無二の無国籍音楽として知られる「シカラムータ」の大熊ワタル(clarinet,etc)と、新世代チンドンの旗手こぐれみわどう(チンドン太鼓、箏、vo.)を中心とする越境的チンドン楽団。日本独自の街頭音楽としてのチンドンを軸に、バルカン、クレズマー(東欧ユダヤ系民衆音楽)など広場の音楽の新たな解釈に取り組み、ワールドミュージック楽団として海外での公演も多数。実用的な大衆芸能として結晶化したチンドン音楽の源流には中世以来の救済・鎮魂の響きがあり、盆踊りは基本に立ち戻る機会。今回は、和太鼓に小林太郎（11/5）久下恵生（11/6）を迎えた8人編成で登場する。

民謡クルセイダーズ

ギタリスト田中克海と民謡歌手フレディ塚本の2名により、民謡を「民衆のための音楽」として復活させることを目的として、2012年に福生周辺の辺境音楽好きが集まり結成された。日本の伝統的な民俗音楽である民謡を、カリブ音楽、ラテン音楽、アフリカ音楽を含む様々な世界の音楽に触発されたアレンジで再構成して演奏し、世界中で大きな反響を得る。2018年フジロックをはじめ、国内外の様々な音楽フェスティバルに出演し、2022年8月には大規模な世界ツアーを実現。

モノガタリ宇宙の会

2015年5月、初代桜川唯丸流の江州音頭講座として開講。以来、大阪への研修や講師の招へいも交えて都内での学習を進めつつ、実践の機会として関東圏でのイベント出演および企画を行ってきた。出演に「中野区大和町八幡神社例大祭 大盆踊り会」（2018～）、「ふっさ妖怪盆踊り」（2019）、「すみゆめ踊行列『さくらばし輪をどり』」（2019）、「2021年亀四フェスタ」など。主な企画に「東西音頭交流会 音頭流星群」（2019）。

Donuts Disco Deluxe [ANI/ロボ宙/AFRA]

スタチャラパーのANIとロボ宙、そしてAFRAで構成されるサウンドシステム。それはANIのブレークビーツ図書館からエディットサンプルされ、ロボ宙はユニークな感覚で俳句とブロックパーティーをタイムで繋げる。WORLD CLASSビートボックスーAFRAが色々な世代と色々な国や様々な音楽をハートビートで繋げてくれるだろう。2022年初の7インチレコード「ディスコクラブ」をリリース！

にゃんどこ

イラストレーター・踊りコ・祝福芸 秋田万歳の万歳師。広告、書籍、パッケージ、グッズなどのイラストを手がけるほか、自主企画の開催、イベント出演、民謡リリース監修、各地の祭り・盆踊り・民俗芸能・催し情報の発信など幅広く活動。斎藤ぼん、すーの二人組。

中西レモン

初代桜川唯丸江州音頭通信講座・モノガタリ宇宙の会世話人（2015年～）。絵を描いたり、歌を歌ったりがらがらしたり。郷土芸能に取材した絵画展『掛唄』（2002年）。ダンス・パフォーマンスに関する上演企画『畳半畳』（主催、2004～14年）。江戸期に中国より輸入された絵画技法書を教科書とした勉強会「懷烟画譜」（画家・高村健志との共催、2016年～）。瓦版などで流布した庶民の歌や語物を読む会「庶民の芸能を読む会」（2017年～）。編集『インタビュ－資料集 豊島の盆踊り音頭』（2014年、てしまのまど）。あがさプロデュースによるCD「ひなのいえづと」（2022年、DOYASA! Records）。

柳家小春

江戸の音曲師（三味線弾唄い）。1991年、名人といわれた寄席音曲師「粹曲」の柳家紫朝に入門。江戸音曲の数々（唄唄俗曲、新内）を習得し、師匠譲りの粋な芸を伝承する。また粋に留まらず、さまざまなジャンルのアーティストとの共演や明清楽月琴の演奏、明治生まれの作曲家・藤井清水の創作民謡の演奏、ボーダーレス音楽ユニット「attc vs Koharu」、ボサノバを日本語で歌う「和ボサ」など音楽活動は多岐にわたる。

山田参助

漫画家・歌手。代表作「あれよ星屑」。現在、日刊ゲンダイにて「新やる気まんまん オット!どっこい」連載中。音楽では武村篤彦とのデュオ「泊(とまり)」を中心に活動。CDレーベル「ぐらもくらぶ」企画による戦前の流行歌の録音状況の再現を試みたCD「大土蔵録音2020」（山田参助とG.C.R.管絃楽団）が34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞ポピュラー部門最優秀作に選出された。

Likkle Mai

DUBバンドDRY&HEAVYの元ヴォーカル、2005年ソロに転向。アルバム『mairation』（2009）と『DUB IS THE UNIVERSE』（2010）がミュージックマガジン・ベストデイスク日本レゲエ部門第一位に輝く。ギタリストThe KとのユニットLikkle Mai & The Kの活躍は国内外に及ぶ。2014年、被災した故郷を描いた「きたぐにのはる」、2018年「V-I-C-T-O-R-Y」「Rise Up」、2021年アンチ・レイシズムソング「ネット横丁」とコロナ禍の日々を歌う「ひきこもりのひきこもごも」をリリース。最新作に「DUB NO FRONTIRES」V.A.。レゲエからロック、民謡に至るまで幅広く活動する稀有なシンガーである。

山口屋左七

1990年代半ばから幻の名盤解放同盟イベントで司会を始める。21世紀から錦糸町河内音頭の運営に関わり、2009年からは錦糸町河内音頭司会。その他、女流義太夫楽屋裏お手伝い、墨田区内の各種イベントお手伝いなど。カレーライスで言えば福神漬けのようにあってもなくてもいいけれど、あれば嬉しい存在になりたいと思っている。

江戸消防記念会 第六区六番組

墨田区の本所、向島地域を持ち場とし、木遣り、纏振り、梯子乗り等の江戸町火消し文化を保存、継承している。

お囃子・一睦囃子／獅子舞・寿獅子

牛嶋神社の祭礼や東京スカイツリー・ソラマチ広場など、広範囲に活動を続けている。墨田区にとって大事な文化遺産を継承する。

パピボンズ

オリジナル曲や、様々な地域の民謡をご当地に合わせてアレンジする盆踊りのチーム。あなたの住むまち、音頭で盛り上げる！

本所魁太鼓

牛嶋神社の氏子、本所一丁目の祭礼を中心に子供から大人までの太鼓で活躍している団体。

日本ラテンアメリカ友好協会

Groups: Mexico en la Piel - Catrinas Xochiquetzal

メキシコやボリビアには、日本におけるお盆の盆踊りと同じく、死者を偲びそして感謝し、生きる喜びを分かち合うことを目的としたお祭り＝ダンスがある。死者の日（Día de Muertos：ディア・デ・ムエルトス）と言い、毎年11月1日、2日に祝われる。墨田区は過去に震災や空襲といった火の災害をうけた地区、広い視野で追悼、鎮魂の意味を込めて、グローバルな踊りを取り上げた。

よへほ節（山鹿灯籠踊り）

よへほ節は熊本県山鹿市の民謡の一つ。遥か古代から受け継がれた灯籠を頭上のにぞせ、優雅に舞い踊る。毎年8月15日、16日に開催される「山鹿灯籠まつり」の中で、「千人灯籠踊り」は、夕間に浮かび上がる揺らめく灯籠の光と踊り手の一体感が、見る人を幻想的な世界へと誘い込む。今年、豪雨災害に見舞われた熊本地方に向け、哀悼の意味を込めて、またコロナ禍で隅田川の灯籠流しも延期になったことから、隅田川の川辺でこのよへほ節が踊られた。

【プロデュース】

岸野雄一 スタディスト/勉強家

「ヒゲの未亡人」「ワッツタワーズ」などの音楽ユニットをはじめ、銭湯やコンビニ、盆踊り会場でDJイベントを行うなど常に革新的な場を創出する。2015年、『正しい数の数え方』で第19回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門の大賞受賞。2017年、さっぽろ雪まつり×札幌国際芸術祭2017「トット商店街」に芸術監督として参加。

うらないうら道 参加アーティスト

荒木知佳 俳優・書道

北海道出身。フリーで俳優活動をする中、幼き頃から学んでいる書道と身体への繋がりを模索し、書道パフォーマンスを創作・披露。土地や水流、自然と線の関係に興味がある。俳優としてFUKAIPRODUCE羽衣「愛死に」、毛皮族「Gardenでは目を閉じて」、スペースノットブランク「ウエア」などの作品に参加している。『KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD 2020』にてベストダンサー賞を受賞。また同年マルセイユ国際映画祭(FID)にて杉田協士監督の『春原さんのおうた』で俳優賞を受賞。

今和泉隆行（地理人） 空想地図作家

7歳の頃から実在しない都市の地図を描く、空想地図作家。大学生時代に47都道府県300都市を回って全国の土地勘をつけ、地図を通じた人の営みを読み解き、新たな都市の見方、伝え方作りを実践中。東京都現代美術館「ひろがる地図」（2019年）をはじめ、各地の美術館にも出展。主な著書に「みんなの空想地図」（2013年）、「『地図感覚』から都市を読み解くー新しい地図の読み方」（2019年）。

遠藤麻衣 俳優・美術家

身体を通じたおしゃべりやDIY、演技といった遊戯的な手法を用いる。遠藤は、民話や伝説といった史料や、ティーン向けの漫画やファンフィクション、婚姻制度や表現規制に関する法律など幅広い対象の調査に基づき、クィア・フェミニスト的な実践を展開している。主な個展に、「燃ゆる想いに身を焼きながら」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA（愛知、2021）。主なグループ展に、「フェミニズムズ」金沢21世紀美術館（石川、2021）、「ルール?」21_21 DESIGN SIGHT（東京、2021）など。

しば田ゆき パリスタ

「オトナリ珈琲」代表。コーヒーにまつわる人のインタビュ－等を掲載するWEBサイト「オトナリ珈琲」の運営、神保町の実店舗運営を行う。コーヒーを媒体としたワークショップやイベントを各地で行う。展示に「あの時の珈琲展」（2018）、またAokid主催「どうぶつえん」参加（2019、2021）、「Time-味をとる」（2021）など。

たくみちゃん アーティスト

分断のない世界をつくりたい。その過程で独自のインプロヴィゼーションを構築する。パフォーマンス・美術・演劇など領域横断的に活動し、2018年より自身が審査員を務め優勝を決めるコンペティション「たくみちゃん杯」を主催する。メソッドを交換可能なものにする試みとして、近年はワークショップの活動にも注力している。近年の発表：《フェスティバル》[stillive覚醒と幻惑] 2022、ゲーティンスティテュート東京、《単独公演》[―(dash)] 2022、contrail など。

福田毅 俳優

現代演劇カンパニー、中野成樹＋フランケンズのメンバー。 2009年よりソロ・パフォーマンスを開始。虚実ないまぜの独特の語り口で、国内外の様々な場所（カフェ、ギャラリー、公園、劇場ロビー、都電車内 etc)にて作品上演。すみゆめには「アンダーカレント」（2019）、「コーパル」（2021）に参加(出演)している。

【企画・構成】

居間 theater

東彩織・稲継美保・宮武亜季・山崎朋の4名からなるパフォーマンスプロジェクト。音楽家や美術家、建築家、空想地図作家、研究者など分野の異なる専門家との共同制作のほか、カフェ、ホテル、区役所、待合室など既存の“場”とそこにある“ふるまい”をもとに作品創作を行う。現実にある状況とパフォーマンスやフィクションを掛け合わせることで、現実を異化させるような独特の体験型作品をつくり上げる。